

令和六年度入学者選抜学力検査問題

国語

(一時間目 六十分)

注意

- 一 問題用紙と解答用紙、メモ用紙のそれぞれの決められた欄に、受検番号と氏名を記入しなさい。
- 二 問題用紙は放送による指示があるまで開いてはいけません。
- 三 問題は1ページから6ページまであります。これとは別に解答用紙とメモ用紙がそれぞれ一枚あります。
- 四 答えは、すべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号

氏名

一 「聞くこと」に関する検査

A案 ポスター



B案 ポスター



二 次の文章を読んで、1～4の問いに答えなさい。

食べられるのに捨てられる食品を食品ロスと言う。大量の食品ロスを^①ごみとしてモヤすと、二酸化炭素の排出や焼却後の灰の埋め立て等によるシンコクな^③環境汚染が心配される。この大きな問題を^②解決するために、^④できることから始めることが重要になる。食品を買い過ぎないなど、食品ロスの削減につながる行動を心がけたい。

1 ^①モヤす ^③シンコク ^④削減 を漢字に直して書きなさい。
埋め 削減 の読み仮名を書きなさい。

2 大きな問題から始める という意味に最も近いことわざを、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

ア 人のふり見て我がふり直せ イ 千里の道も一歩から
ウ 終わり良ければすべて良し エ 石橋をたたいて渡る

3 重要な の活用形を書きなさい。

4 ない と同じ品詞を、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

ア あの場所は静かでない。 イ その方法は正しくない。
ウ 雨が降っても困らない。 エ 明日の予定は特にない。

三 次の文章を読んで、1～5の問いに答えなさい。

四

次の文章を読んで、**1**～**4**の問いに答えなさい。

五 次の文章は、手紙のやりとりについて書かれたものである。

これを読んで、1〜3の問いに答えなさい。

めぐらしといふべき事にはあらねど、^①文こそなほめでたき物な

(手紙)

れ。はるかなるせかいにある人の、いみじくおぼつかなくいかな

(遠く離れた地方)

(どうして)

らんとおもふに、文をみれば只今さしむかひたるやうにおぼゆる、

いるであろう)

いみじき事なりかし。我思ふ事を書やりつれば、あしこまでも行

(先方)

つかざるらめど、^②こころゆく心ちこそすれ。文といふ事なからまし

(心が満たされる気持ち)

(なかったら)

かば、いかにいぶせくくれふたがる心ちせまし。よろづの事思ひ思

(ゆううつで晴れ晴れないことであろうに)

ひて其人のもとへ、とてこまごまとかきおきつれば、おぼつか

(不安な気持ち)

なさをもなぐさむこちするに、まして返事見つれば、命をのぶ

(延ばす)

べかめる。げにことわりや。

気とする)

(「枕草子春曙抄」による)

1 なほ^①よろづ^②を現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きな

さい。

2 手紙を「出す」側と「もらう」側の気持ちについて、次のよう

にまとめた。「a」「b」「c」に適する内容を、それぞれ八字以

内で書きなさい。

「出す」	<ul style="list-style-type: none"> 相手にまだ届いていなくても、「a」のような気持ちになる。 いろいろな考えてこまごまと書いておくことで、「b」がいやされる。
「もらう」	<ul style="list-style-type: none"> 返事を読むことで、「c」のような気がする。

3 次は「無名草子」の中で、手紙について書かれた部分の現代語訳である。本文とこの文章を比較している生徒A、Bの会話を

を読んで、後の問いに答えなさい。

【「無名草子」の現代語訳の一部】

何事も、人の交わりは、ただ向かい合っている間の感情だけですが、この手紙というものは、まったく昔のまま、その当時の感情が少しも変わることがないのも、たいそうすばらしいことなのです。

A	B	A	B	A	B	A
どちらの文章からも、手紙への思い入れが伝わってくるね。	そうだね。本文では、はじめに手紙のことを「I」と評	二つの文章を読んでもみると、手紙の相手と自分を隔て	るものが、本文では「II」で、「無名草子」では「III」だ	という違いも見えてくるよ。	隔てているものがあったも、まるで実際に対面している	さ、どちらの文章からも読み取れるね。
なるほど。手紙はいいものだね。私も書いてみようかな。						

- (1) 「Ⅰ」に当てはまる内容を、本文中から**五字**で抜き書きしなさい。
- (2) 「Ⅱ」「Ⅲ」に当てはまる語句の組み合わせとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。
- ア Ⅱ 時間 Ⅲ 距離 イ Ⅱ 距離 Ⅲ 時間
ウ Ⅱ 距離 Ⅲ 感情 エ Ⅱ 感情 Ⅲ 時間
- (3) 「Ⅳ」に適する内容を、**八字以内**で書きなさい。

六

次の①～③は、「言葉の使い方に対する意識調査」の項目の一部である。あなたが言葉の使い方では意識していききたいことを①～③から一つ選び、そのことに対するあなたの考えを、これまでの自身の体験を踏まえて、後の〈条件〉にしたがって書きなさい。

- ① 敬語を適切に使う
- ② 流行語や新しい言葉を使い過ぎない
- ③ 方言を大切に使う

文化庁 令和四年度「国語に関する世論調査」から作成

〈条件〉

- ・ 題名は不要
- ・ 字数は二百字以上、二百五十字以内
- ・ 選んだ項目を書く際は、例のように書いてもよい

例

①

は